



リスクマネージメント研修会

薬の取り扱いについて

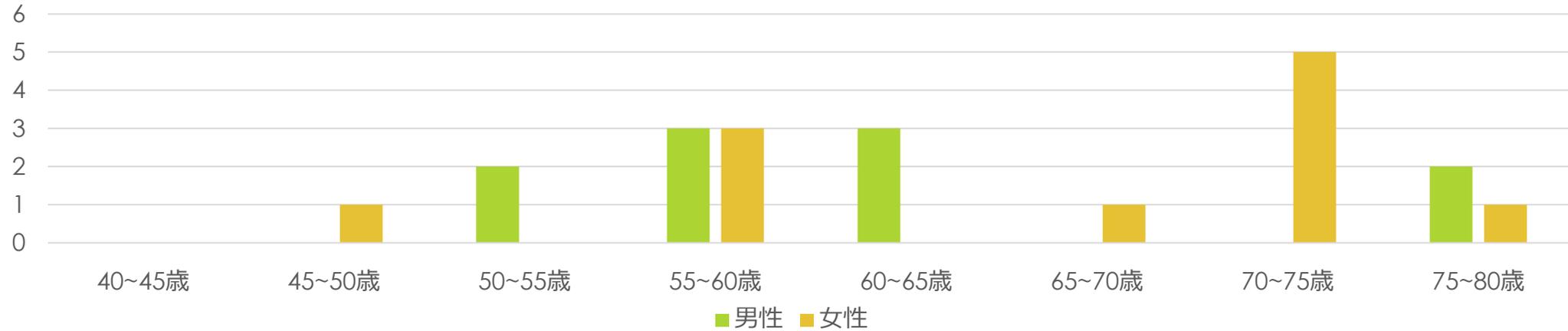
おしま屋

おしま屋 利用者年齢構成

	40～45歳	45～50歳	50～55歳	55～60歳	60～65歳	65～70歳	70～75歳	75～80歳	計
男性	0	0	2	3	3	0	0	2	10
女性	0	1	0	3	0	1	5	1	11
計	0	1	2	6	3	1	5	3	21

令和4年4月

全体平均年齢 64.0歳



おしま屋 利用者区分構成

	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
男性	3	7	1	0	0	11
女性	1	6	2	1	0	10
計	4	13	3	1	0	21

全体平均区分 3.0

おしま屋利用者 疾病順位

1	高血圧	17名
2	排尿障害（前立腺肥大・過活動膀胱、神経因性膀胱、尿漏れ）	15名
3	脂質異常（高コレステロール・高脂血症）	10名
4	ヘルニア、変形性関節症等（腰、頸椎ヘルニア・肘、膝、腰痛）	9名
5	逆流性食道炎	7名
5	白内障	7名
6	糖尿病	5名
6	骨粗鬆症	5名
6	鼻炎（アレルギー性・慢性）	5名

令和4年4月

おしま屋利用者 服薬時間内訳

朝	昼	夕	就寝
21名	12名	17名	13名

令和4年4月



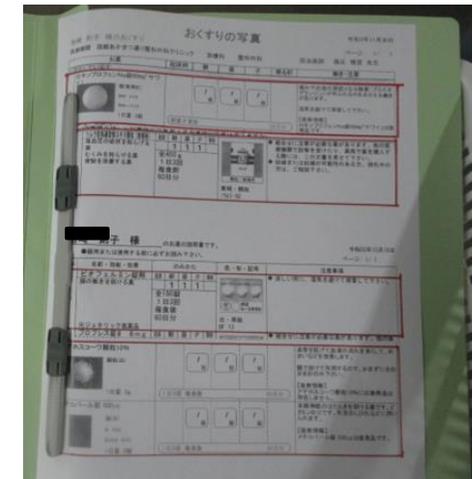
I・Nさんの「薬支援」

(出勤時)

	本人	職員
①	当日の薬をケースに入れます。	
②		ケース内の薬を確認します。 ※薬内容内訳で確認
③		事務所で保管します。



薬ケース



薬内容内訳



I・Nさんの「薬支援」

(昼食時)

	本人	職員
④		昼食時に本人の席にケース毎置きます。
⑤	昼食後、薬を飲みます。	目視にて確認をします。
⑥	空袋をケースに戻します。	



服薬



I・Nさんの「薬支援」

(服薬後)

	本人	職員
⑦		ケース内の空袋に残薬がないか確認します。
⑧		空袋を貼り付け保管します。



空袋確認

さいごに

- ▶ 今後、服薬が必要になる方、服薬内容が変更になる方、一時的に服薬が必要な方など、様々な形で服薬支援が必要な方が増えると思われる。



- ▶ 法人の服薬マニュアルや、他の施設の薬の支援を参考に状況に応じて見直しを図っていききたい。
- ▶ 職員が、一つ一つの薬支援の必要性、重要性の意識を持ち、おしま屋職員同士の連携、サポートはまなすとの連携も図りながら、各利用者に合わせた支援の仕方です服薬ミスがないように取り組んでいきたい。